

Lengede Township: Local Government

レンゲデ郡役場

Lengede 郡が Stratus Avance ソフトウェアの導入により 経済的で信頼できる無停止環境を実現



レンゲデ郡役場 (Lengede Township) はクリティカルなアプリケーションの連続稼働を確かなものにするために Stratus Avance ソフトウェアでサーバ仮想化を実施。管理の側面から見た最大の導入効果は、数十分というわずかな時間で実装でき最小限の負荷で運用できる点にあった。

ビジネスの状況

極めて限られた IT リソースで、無停止運用を必須の要件とするコンプライアンスを満たすサーバ環境を構築する必要性に迫られているというのが、ドイツ Lower Saxony のレンゲデ郡役場が直面したジレンマだった。

レンゲデ郡役場では、住民票登録や不動産、婚姻や葬儀、等に関わる諸手続きを支援する IT 業務の大部分を内部の要員が担当している。さらに郡議会では、議事や決議事項の住民への透明性を確保するトランザクション処理を行なう情報システムを運営している。

1990 年代に最初に構築された同役場の IT インフラは、ソフトウェアの新しいバージョンのサポートと対象業務プロセスの拡張のために 2006 年に刷新された。「次に我々には新規の要件をクリアする課題が与えられていました。」とレンゲデ郡役場の IT 担当者 Eike Schinke 氏は語る。「例えば特定のアプリケーションはそれ専用のサーバにインストールしなければならないといった政府の規制を遵守する必要があったのです。しかしながら Lengede のような小さな地方自治体では、専門の IT 部門など維持することはできません。全ての IT 関連業務を我々二人だけが担当し、しかもそれは専任ではなく役場の行政事務も同時にこなしているのです。」

「しかしながら、Lengede のような小さな地方自治体では専門の IT 部門など維持することはできません。全ての IT 関連業務を我々二人だけが担当し、しかもそれは専任ではなく、役場の行政事務も同時にこなしているのです。」

Eike Schinke, Lengede Township

QUICK FACTS

SOLUTION PROFILE

- ・郡役場の業務システムの仮想化と無停止化を標準 x86 サーバ上で同時に実現。
- ・24 時間自動監視による障害予兆検知及び管理の機能がシステム停止とデータ喪失を防止。
- ・単一管理コンソールがビジネス・アプリケーションへの 24 時間 365 日アクセスを提供。
- ・標準装備の仮想化機能が複数の Microsoft® Windows® と Linux® の仮称マシンをサポート。
- ・プラットフォームに依存しない無停止ソリューションが仮想化によるサーバ統合のリスクを解消。
- ・導入と運用の負荷を最小限にとどめ IT 業務と一般業務を両立。

PRODUCTS

- ・ Stratus Avance ソフトウェア

SERVICES

- ・ MTS Systemhaus

このような事情でサーバ仮想化の計画が持ち上がったが、すぐさま次の課題が浮上した。それは、サーバは郡役場の業務プロセスの技術基盤であり、IT システムが常に動いていることが保証されなければならないというものだった。ほんの僅かな時間の停止でも役場の基本的なサービスが中断されてしまうからである。「サーバがダウンしているからといって、例えばパスポートの申請に来た住民に帰ってもらわなければならないわけにはゆきません。住民のために尽くすことを約束する地方自治体の理念に反することになるからです。」と Schinke 氏。

「サーバにいかなる障害が発生しても、Avance はデータの喪失やシステム管理者の介入を伴うことなく処理の継続を自動的に確保してくれます。他の仮想化ソリューションには、このように意識する必要のない解決策を提供できるものはありませんでした。」

Arndt Schnuetgen, Senior Consultant, MTS Systemhaus



Stratus Avanceソフトウェアによる課題解決

仮想化ソリューションを検討するうちに、レンゲード郡役場は仮想化と無停止化の理想的な組合せである Stratus Avance と出会うことになる。Stratus Avance ソリューションは2台の物理サーバから、1台の論理サーバから成る無停止仮想化環境を構築する。ユーザはこの環境に仮想サーバをいくつでも立ち上げてアプリケーションを稼働させることができる。

ユーザからはシングルシステムに見える2台のサーバは Avance ソフトウェアにより常時監視され同期を取って稼働する。一方の物理サーバが故障すると、無停止のままもう一方のサーバが全ての処理を継続。故障したサーバの保守が完了すると2台のサーバが自動的に同期運転を再開する。

「これは小規模の組織にとって非常に重要なことです。」と話すのはレンゲード郡役場のシステム構築を支援した MTS Systemhaus のシニア・コンサルタント Arndt Schnuetgen 氏。「サーバにいかなる障害が発生しても、Avance はデータの喪失やシステム管理者の介入を伴うことなく、処理の継続を自動的に確保してくれます。他の仮想化ソリューションには、このように意識する必要のない解決策を提供できるものではありませんでした。」

この自動連続稼働は、二人の IT 担当者が他の業務を兼務するレンゲードにとって決定的に重要な機能だった。「窓口での対応中や外出中に全てを中断してサーバの修復に専念することなど不可能です。」と Schinke 氏。「我々にとってシステムのアベイラビリティとは人手を介入さずに障害への対応が自動的に実行されシステム停止が回避されることを意味しています。」

「窓口での対応中や外出中に全てを中断してサーバの修復に専念することなど不可能です。我々にとってシステムのアベイラビリティとは人手を介入さずに障害への対応が自動的に実行されシステム停止が回避されることを意味しています。」

Eike Schinke, Lengede Township

単一の管理コンソールから管理することができる Avance は、ソフトウェアとハードウェアの問題特定のための統合診断ツールも備えている。部品交換要求などの問題通知のエラー・メッセージは分かりやすく実に包括的だ。「お陰でストレスは全くなりなくなりました。」と Schinke 氏。

IT 管理者は仮想サーバ、物理サーバ、ネットワーク接続をリモートから監視し管理することができるため、Avance は技術要員のオンサイト配備ができない分散環境でのシステム構築にも最適だ。

HA クラスタ・ソリューションと違って Avance には時間のかかる複雑な設定作業やアプリケーションの変更が不要だ。1時間以内にインストレーションは完了し稼働準備が整う。

「導入のしやすさは Avance の群を抜く差別化要素でした。」と Schinke 氏は強調する。「他のソリューションを採用していたら外部リソースに大幅に依存せざるを得ず予算が膨れ上がっていたことでしょう。我々自身も当初は信じられませんでした。仮想化と無停止の機能を併せ持つ Avance の実装は、本当に20分程度で完了してしまいました。他のソリューションでは到底このようには行かなかったでしょう。」

さらに、他の仮想化やハイアベイラビリティのソリューションよりも投資対効果に優れているという Avance の特長は、IT 予算が制限された緊縮財政下においては特に重要な要素だ。

「Avanceのおかげで、予算の範囲内で何一つ妥協することなく、全てを実現することができました。」と Schinke 氏は結論付けている。

「我々自身にも当初は信じられませんでした。仮想化と無停止の機能を併せ持つ Avance の実装は、本当に20分程度で完了してしまいました。他のソリューションでは到底このようには行かなかったでしょう。」

Eike Schinke, Lengede Township

「Avanceのおかげで、予算の範囲内で何一つ妥協することなく、全てを実現することができました。」

Eike Schinke, Lengede Township



<http://www.stratus-avance.jp/>

2011年9月：US事例翻訳版制作